

のぞいてみよう！ せんだいの歴史 ゆかりの絵画編

「仙台領分名所手鑑」で

お気に入りの名所探し

仙台市博物館 学芸普及室 永山達郎

第15回

仙台市博物館では、教育普及の一環として小中学生向けに授業を行っています。そこで、今回は小学校の授業風に「仙台領分名所手鑑」という作品を紹介してみます（児A・児童A）。

「仙台領分名所手鑑」について知ろう

先生 今日江戸時代に作られた「仙台領分名所手鑑」を鑑賞します。

児A 「仙台領分名所手鑑」とは何ですか？

先生 江戸時代の仙台藩領内にあった名所30カ所について、右側には和歌、左側には絵を貼って紹介している作品集のようなものです。

児A 30カ所の和歌と絵を1人で作るなんてすごいですね。

先生 実は、和歌と絵の作者は別の人のです。和歌を書いたのは仙台藩6代藩主伊達宗村というお殿様で、絵を描いたのは江戸幕府の絵師も務めた狩野典信という人です。

絵を見て「？」を見つけよう

先生 それでは、最初に描かれている塩竈

竈（塩竈市）の絵を例に見ていきましょう。この絵には何が描かれていますか？

児B 太陽が描かれています。海や山、浜辺には建物や木もあります。

児C あれ？ 先生！大変です。建物の辺りから煙が出ています。

先生 安心してください。これは火事ではありません。実は小屋の中では塩作りが行われているのです。海水を竈で炊き、煮詰めているので煙が上がっているのですね。塩竈という地名の由来はここにあるのですよ。

児D ええー。海には波が見えます。波の様子が細かく、一つ一つ丁寧に描かれています。でも、波は普通白いのに、黒い線で描かれているのはなぜですか？

先生 確かに不思議ですよ。なんと最初はキラキラ輝く銀色の繊細な線で描かれていました。しかし、時間が経つにつれて、銀が黒くなってしまうたそうなんです。

和歌の意味から「なるほど！」探し

児A 季節はいつですか？

先生 その答えは、和歌にあります。

児A 「塩」の文字しか読めません。

先生 実は「春」という字もありますよ。この和歌の意味は「塩竈の塩焼きの煙に曇る春の月は、春霞に霞むことがなくともはつきりとは見えなだらう」というものです。

児B えっ！太陽ではなく月だったのですね。いろいろ分かれると、絵の雰囲気違って見えてきました。

先生 それでは皆さん、残りの29カ所も見て、お気に入りの名所を見つけていきましょう。



「仙台領分名所手鑑」(塩竈の部分) 仙台市博物館蔵

【翻刻】

塩竈

しほかまのけふ

りにくもる春

の月かすま

すとてもさた

かにはみし



今回紹介した作品の画像(全30カ所)は仙台市博物館ホームページの「収蔵資料データベース」からご覧いただけます。

徳川歴代将軍の甲冑が一堂に。

特別展 徳川 十五代 将軍展



9月12日[金]ー
11月9日[日]



詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

【観覧料】一般1,600円、高校・大学生1,300円、小・中学生900円
【開館時間】9:00~16:45(入館は16:15まで)
【休館日】毎週月曜日(10/13、11/3は開館)、11/4
展覧会公式X: @2025TOKUGAWA15

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM TEL:022-225-3074 博物館X: @sendai_shihaku